

ちまふ
とち
かづ
らり
ム

千歳烏山駅周辺の
まちの将来イメージを
描くワークショップ

第1回 意見交換記録

2025.8.30
烏山区民センター



今年度の地域WS 進め方

▼ 第1回(今回) ▼

課題・アイデアの共有



ワールドカフェ方式
意見交換

第2回(9/28)

課題解決・アイデアの
場所特定



テーマ別まち歩き
ガリバーマップ

第3回(11/22)

アイデアの視覚化



未来絵日記



第1回 地域ワークショップ ～ワールドカフェの進め方～

カフェでくつろぐ感覚でまちづくりの対話をします

テーマ

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 商店街・イベント(活性化・賑わい) | (4) コミュニティ(遊び・文化・アート) |
| (2) 公共施設(広場・施設) | (5) 住宅・みどり(環境保全・子育て) |
| (3) 交通環境(道路・自転車・バス etc) | (6) 防災(避難場所・防災対策) |

- ① 6つのテーマごとにグループに別れ、自由に話し合いを行います
途中席替えを行い、話し合いは2回(Round1、Round2)実施します

■ 提案・アイデア： **ピンク** 付箋 ■ 課題： **黄色** 付箋

- ② そのテーマの代表として、マスターが話し合った内容を発表します
- ③ 発表グループ以外の方は、発表内容に対して意見・提案・応援メッセージを
■水色の付箋に記入します
- ④ 全ての発表が終わったら、水色の付箋をご紹介します



ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

広場や街全体のイベント：街全体で音楽やパフォーマンスを楽しむイベント、アートをはじめとする文化的な薫りの高い街にしていきたい。

個性的な店、若者の新たな出店：個性的な店が住宅街に広がっている。家賃を安くすることで若者による新たな出店を促し、素敵なアイデアを支援する制度の創出を通じてさらに充実したい。

路地文化：歩いて楽しい裏路地が烏山の特徴。路上ライブや食べ歩きなどもできるように、魅力アップしたい。

多様性を受け入れる街：増えている外国人居住者を受け入れる街、ペットが過ごしやすい街を目指してお店を充実するとともにエリア別に特徴あるクリスマスマーケットをはじめとする路上イベントを創出したい。

再開発への期待：どこにでもある再開発としないために、先進事例から学ぶとともに、温泉や宴会ルーム、宿泊施設などが組み込まれると良い。再開発について、街の魅力アップにつながるポジティブなアピールが必要。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① 自転車：駐輪場の配置／マナーの向上／上手に共存	● 自転車との共存：長期間議論しているが、マナーも含めてなかなかアイデアが出ない ● アーケードの出入り口に駐輪場があるとよい！！ ● 9／7、馬がやってくる！寺内ゼミで研究してくれている。古い人はマナーが◎	● 自転車を出す時に後ろを注意せずぶつかる高齢者が多い ● 自転車のこと ● 意識のある人もいるが、ない人を何とかしたい ● 自転車のマナー安全安心な街に	● 自転車問題：私も使うし不便にならないようにうまいこと解決してほしい
② 広場：パフォーマンス／文化の薫りのある使い方	● まち全体で音楽を楽しむイベント／塾や若手から発信 ● 街の案内／パフォーマンス／隠れ店 ● ダンスなど／教室が多い／パフォーマンスする場所としたい ● 駅から遠い店を駅前で紹介したい（一度やってみて良かった） ● みんなの投稿板で情報発信している！！	—	—
③ お店	● 若いカップルやお年寄りを対象としたお店があるとよい ● 駅前でのインフォメーションとマップ／駅から遠い店を紹介する ● 家具を買い求める店がないので作ったらどうか（40 年前は大きな家具屋があった	● ファミリー向け飲食店が少ない ● イベントやお店の情報はどこで取得したらいいのか分からない	● プラス思考の商店街になっていく！ ● 若者がお店を始められるといい！そのとおりである。回遊性が大事 ● 烏山のインフォメーションに注力する点が良い（お店の紹介等） ● 駅前の「キッチン中川」のように駅から離れていても出先のお店を駅近くに開くことで、店の存在、商品の味を知ることができるのではないか ● 小さな個性的なお店が輝く烏山がいいネ！ ● チェーン店が少なく、個性

			的なお店が多い。街並みが好きで、このエリアに引っ越したので、（他の人と）同じ認識だったのが嬉しかった ● 個性的な場所とかお店があるとおもしろい ● 小さくても良いお店が出店できるのは良い ● 駅前ロータリーの案：はっけん通りが最近アツイので、ぐるっと廻るバスがあると便利そう
④ 環境温暖化／暑さ対策／風や雨／アーケードは使える	● アーケード開閉式屋根があると買い物に行きやすい ● 施設の暑さ対策	● 暑さ・雨・風をどうするのか	—
⑤ スタンプの充実	● ダイヤスタンプを出してくれるお店を増やしてほしい。集めるメリットを知る手段は？ ● 現在の景品は「高尾山までのチケット」昔はすごかった！	—	● ダイヤスタンプは継続してほしい
⑥再開発：どこにでもある街にしないこと／よくなる点についてはきちんと共存する／特徴ある施設づくり（温泉・アート・宴会場）	● 宿泊施設（今は調布・新宿） ● 温泉（見晴らし good!） ● 宴会ルームもあるとよい ● アートの発表の場をもっと設けたい ● ロータリーが出来ると今までのようなお客様の回遊がなくなる→無料バスか何かがあると良い	● 再開発についてポジティブな広告が足りない ● 魅力アップにもつながることもある ● よくなる、楽しくなる、烏山らしくなることをアピールするべき ● どこにでもある街にはなってほしくない（再開発は金太郎アメになりがち） ● ただの中継点になるのはよくない！！ ● タワーマンション開発は画一的で好きではない。建設中、メンテ中、街が暗いし…	● 南商店街のイベント：再開発に対するネガティブなイメージがまだある。払拭していいまちにできることを考えよう！ ● 再開発ビルに温泉があるとイイネ ● 開発によりよくなったまちに見学に行きたい ● 歩く人、自転車、車の買い物、休憩の使い勝手をよくしたい

⑦街全体にアートを！！：路上ライブ／パフォーマンス	● 配電盤を利用して 1 人のアーティストのパフォーマンスの場とする	● 音楽の香りがしない ● 25 年くらい前には楽器店があった ● 文化的な活動が少ない（目立たない） ● 若者が定着しない	● アート、音楽のイベントとスペースはとてもよかった
⑧若者が住んでいる大きな理由	● 小さい店を企画して出店しやすくする ● 隠れ家レストラン（住宅街） ● 個性的個人店が繁盛する環境へ ● 素敵なお店のプランを持った人を支援する制度 ● 家賃を安くしてもらい、真面目なお店を育てたい	● 大手チェーン、仙川化はしたくない（個人的には） ● 地元のお店がたくさんあるとよい：例）ベンチコーヒー（大手チェーンが多すぎるのはいかがなものか）	—
⑨路地を大切に／小さなお店の魅力／路地を増やす	● 路地があって歩いて楽しい小さな営業のできる街 ● 今後は路上ライブをやったら良い ● 裏通り商店街でみちばた食べ歩きフェス	—	—
⑩外国人／多様性、ペットを	● ダイバーシティ／多様性／外国人を受け入れる街 ● ペットが過ごしやすい街がよい／歩き、リードつなぎ、水まわり関連ショップの誘致 ● 歩道の作り方水回りの用意が必要 ● フェスティバルをやってみるとよい ● エリア全体でクリスマスマーケット、路上イベントを行う ● 冬暖かいイベント！！路上でストーブなど	—	● 商店街イベント：外国人が増えているので積極的に取組むとよい →企画・運営のお手伝いをやりたい！ ● 仙川のキューピーと協力し、地元商店と一緒にペット用食品の商品開発ができないか？ ● パフォーマンス集団の活躍できることはないか？ ● 仙川に桐朋学園大学もあるので演奏（小）会を駅周辺でやってはどうか

ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

区民センター前広場：区内でも特徴的な街の中心になっている広場を大切にしたい。一方、改善の余地はある。そして、南側にできる広場との連携が大切である。

区民センター：部屋の数が多いが、キャパが足りない。現代のニーズに対応できていない。

高架及び高架下：新しくできる比較的大きな空間に対して、緑、店舗、駐輪場などの期待は大きい。

南側地区：情報が足りなく、具体的な提案は少なかった。

交通：将来は地区内の歩行者、自転車、車のあり方を総合的に考えたい。基本はゆったり歩ける街。

公共施設のあり方：既存の施設と新しくできる施設の役割とコンセプトを作ることが大切、それには利用者、住民の参加も必要。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① 区民センター前広場	- 区内ではほかには無い最も大切な空間 - 広場を芝生にして、もっと人を集めてはどうか。南池袋公園のように - もっとさまざまなイベントができる広場にしたい。 - 南側にできる広場との関連性を高めた作りが必要。 〇〇フェスのようなイベントをやりたい。	—	- 若い人が興味のある催しが行列になったら、住む人が増えると思った - 鳥山はおまつりが多いので、そこはなくならないようにしたい
② 区民センター	—	- 施設の数はあるが、キャパが少ない。 - 鳥山が変わるのなら、会議をして、その後、懇親会が出来る施設がほしい。ホテルとか。集会室は手狭で、いろいろな利用が難しい。100人以上が集まれ、飲食もできる場がこの街にはない。そのため、調布などに流出している。 - タウンホールにはスカイラウンジがある。 - 鳥山図書館が狭い。UD的にも問題ではないか。 - ホールが大きすぎないか。もう少し小ぶりの会場がたとえば高架下に欲しい。	- いろんなキャパ、多様なホール、ミニ劇場などがあるというアイデアは Good - 現在の施設をいかに活かすか？ - 芸人に視点を当てるのも面白い。 - 北側の区民センターのバランスも考えたい。 - 区民が使いこなせる、公共施設になる母体を作りたい。 - 区の施設のこれからについて知りたい。
③ 高架、高架下	- 京王線のコンクリートの柱がいっぱいできる。無機質な場所になるので緑化してはどうか。＋ミストシャワー - 下北沢のボーナストラックのような小さな店があったらいい。 - 駅から少し離れてもいいが、若い人が店を出せるところが欲しい。	—	- 駅下がコンクリートばかりだと景観が悪いね、淋しい気持ちになる。 - 京王線の柱をキャンパスに見立てて、クリエイターの作品発表の場として活用してはどうか。

	● 芦花公園駅まで高架下を歩いて繋ぎたい。 ● 南北をつなぐ箇所は多い方がいい。 ● 高架下の利用に住民が参加できないか		
④ 駅前広場南側地区周辺	● 居場所空間を備えた、広々、ゆったりした図書館、知と出会いの場 ● 最上階に宴会ができる場所があればいい。	● 街に来た人が止まれる場所が少ない。（ここでやれたら）	—
④ 広場	● 烏山っていいね。と思える広場	—	—
⑤ 公共施設のあり方	● まとまった施設よりいくつかの施設がつながると良い ● ボランティアが多い。 ● フォーラムから生まれるボランティア活動に期待。	● 多文化共生の場、拠点がない。	● 文化交流の情報や場所の案内が少ない。 ● フォーラム発のまちづくり活動に取り組んでいけるといいね。
⑥ みどり	● 昔は葡萄畑があった。葡萄のイメージは広場にもある。 ● みんなで管理する畑、話が弾む。 ←場所がなかなか無いから、屋上でもいいのでは	● 緑があるほっ！とできるひと休みできるイス・ベンチ ● 季節を感じられるものがほしい	—
⑦ 交通	● 車と自転車の流れを街全体で考える。 ● ゆったり歩ける街が希望。それには車、自転車、人のルール作りが必要。 ● 地区内は杉並区のグリスロのような交通手段があれば良い。豊島区のイケバスも参考になる。	● 歩道が少なくて安心して歩けない。みどりが少ない。 ● 駅までの移動 ● 若い人と速度感が違う。	● 高架下を自転車問題の解決に当てるのはすごくいい。でも閉じないでほしい。
⑧ 駐車場	● 公共の駐車場を作り、少し遠くからの客に街に来てもらい、買い物やイベントを楽しんでもらい、活性化につなげる。	—	—
⑨ 店の状況	● はっけん通りには良い店が増えている。 ● 特徴のある店づくりが大切。	● 烏山は店舗の家賃が高いため、出店が難しい。 ● 買取の店が多くなり、賑わいが減っている。	—

ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

駅周辺の交通環境：自転車利用者が多く、他にも自動車や歩行者が入り乱れていて危ない。子どもも高齢者も安心して歩けるよう、緩く動線を誘導する、道路の設えで走行速度を落とす仕掛けを設けるなど、皆が共存できるようにする。

歩行者優先、歩行者天国（駅前通り）：駅前通りは自転車で走行する人や路上駐輪が多く、歩行者が安心して歩けない。歩行者優先のまちづくりを進めたい。

駐輪問題：特に買い物利用者の路上駐輪が多く、駅近くの駐輪場は停めたくても満車で停められない。買い物時に短時間利用できる駐輪スペースを設けるなど、駅近くに気軽に置ける場所があると良い。

バス・タクシーの利便性：乗り場が駅から離れており、場所も分散していて乗り継ぎも含め利便性が低い。駅近くに整備予定の駅前広場に乗り場が集約されると便利になる。しかし、集約されると、商店街を通らずにバスやタクシーに乗れるので、街を回遊する人が減るおそれがある。利便性を高めつつ、回遊性も高めたい。

再開発による交通への影響：駅南側の再開発により、住人や利用者が増え、車利用も増えると思われる。交通環境が悪化しないような対策が必要である。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① 駅周辺の交通環境	- 旧甲州街道は交通量が多く危ないので、自転車用と歩行者用の道があると嬉しい。 - ハッキリと分断するのではなく、なんとなく緩い感じで思いやりを持った分け方が良い。 - ハンプやシケインなど道路の設えによってゆるやかに交通を誘導してはどうか。 - 高齢者も歩きやすい通りに。	- 車と自転車、歩行者、障害のある方の動線が混在している。整理が必要だ。 - 車利用者が少ないから、自転車利用者が多い。 - 北烏山方面にはバスがなく、自転車利用者が多い。	- 人と車と自転車共存できる街。やさしさのある街。 - 人と道路分けていいよね。 - 老人、子供も歩きやすい環境を考える事は大事。 - コンクリートだけでなく、土とかの道がほしい。 - 高架下は南北通行できるようにすると、人の流れがよくなると思う。 - 若者の立場だと“歩きにくさ”を感じることはないので、色々な世代の意見が聞けて認識が変わりました。
② 歩行者優先歩行者天国（駅前通り）	- 駅前通りを歩行者天国に。自転車は乗入禁止。 - 週末ぐらいは歩行者天国にして自転車をシャットアウトしてはどうか。 - 歩行者優先のまちづくりを進める。	商店街の歩道に自転車がたくさん停車している。	- 自転車、車、人の共存いいと思いますが、基本的に歩行者だけの道や時間を設けてほしいです。 “歩行者天国” （まちの中心は）ロータリー以外は車が入れないような町がいい。
③ 駐輪問題	- 気軽に置ける駐輪場を整備する。 - 店の前に駐輪スペース（自転車ラック）を設ける。 - 無料の駐輪場をつくる（一定時間無料、あるいは買い物をすると無料）	- 買い物目的で来ている人は駐輪場に停めない人が多いと思う。 - 買い物用自転車が多い。 - 放置自転車がが多く、人の通行や車両の通行が困難。 - 少し買い物する間、自転車を数分気軽に置ける場所がないと思う。 - 地下駐輪場は平日すぐ満車になるため停められない。 - 自転車の量に比べ駐輪場が少ない。 - 駐車場と駐輪場の整備は必須。	- 駐輪場のつくり方がキモ!!高架下の中央に入れることできないかな。みえる部分（道路沿い）は店などにする。 - 駐輪と景観のバランスが必要。

④ バス・タクシーの利便性	駅前広場にバスやタクシーを集約する。	- バス停留所が遠い。旧甲州街道やライフ前などバス停留所が分かれていて、乗り換えが不便。 - タクシー乗り場が遠い。	- 分断されない交通網。 - 区役所へ行くコミュニティバスがほしい。
⑤ バス・タクシーの集約（駅前広場）	- 集約により生じる回遊減少を解消する手段が必要。回遊したくなるアプリとか？ - 大手チェーン店より個人店が多い方が良い。隠れ家のような。街全体に路面店が増え、そこにしかない店があると思いたくなる。	- 駅前広場にバス停ができるのと商店街に人が行かなくなるのでは？ - 駅前広場に集約できれば早く乗降できるけど、商店街を回遊する人が減る。バスは駅前広場に集める必要ない。 - 駅前広場にバス停が出来るのと商店街ができるの？	駅前広場で北と南の乗りかえ、一緒になることの課題やメリットをみんなで考えられたらいいよね。
⑥ 再開発による交通への影響	- 再開発で交通量が増えても渋滞が起きないようにしてほしい。 - タワマンの駐車場出入口は補助216号線側にしてほしい。 - はっけん通りに信号設置が必要。	- 再開発により、交通量や路上駐車が増え、道路の混雑が今よりひどくなると思う。 - 再開発により人が増えると、はっけん通りの交通量が激しくなる。事故が増える？	—
⑦ 京王線の地下化	京王線を地下化して線路跡地を避難路にする。	—	—
⑧ 駅前広場の活用	- アートイベントを開催するなど、区の土地が駅前にあるメリットを活かす。 - 買い物をする、飲食を楽しむだけの街ではなく、アートの雰囲気もほしい。	—	—

ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

情報の“見える化”：地域の出来事やお祭り、良いお店などを発信する方法が議論された。SNS やマップを活用し、ポジティブな情報を共有していく工夫が求められた。

広場の活用：多世代が気軽に集えるスペースの必要性が強調された。人工芝やイスを置く試み、フリーマーケット、夜間照明の工夫などが提案された。

文化・アートの発信：地域に眠る文化資源やアート活動を顕在化させ、広場や再開発空間を活用する案が出された。発表の場を増やし、まち全体の雰囲気文化要素を取り入れていく視点が示された。

鳥山マインド：挨拶や交流を通じて「多様性を受け入れる心」を育てる取り組みが提案され、世代を越えたつながりを大事にする姿勢が確認された。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① まちの情報の“見える化”	●ほめる専門の SNS/あえて良いことしか書かない。良かったことをお店の人や本人にきちんと伝えるプラットフォーム ●からすやまのイベントをアプリで一括確認できるように ●どこで何をやるのか分かるお祭りMAP ●あちこちにアート作品などがあれば、街歩きが楽しくなりそう(MAPなど作成) ●昔の歴史が分かる地名が残っているので、それを伝える・わかるまちづくり ●盆踊りやおみこしをより続けられるようにするためにコミュニケーションを取れやすくする機会をつくる ●ガイドマップがあると人が集まるかも ●からすやまモデルルート（昭和レトロカフェや文学館、寺町などを巡ることで千歳烏山を楽しむ）	●良いお店や、ほっこりしたエピソードや口コミ情報として伝えていくにはどうした良いか？ ●ユマニテでおいしいカフェのマップを配ってます ●今コーヒー屋さんMAP作成発行しているがとても人気です。今後ジャンル増やしたい（スイーツ、町中華、パン屋など検討中）ユマニテ ●光るお店はたくさんある！連携が取れるともっと街が盛り上がると思う	●今どのようなコミュニティがあるのか知りたい ●ほめる専用SNS 良いね！ ●SNSの活用はプラス思考の発信を続けていくことが大事だと思う ●文化をデータ保存管理。VRとか3D化
② 広場の活用	●多世代がフリーに集えるスペース ●ゆったりした時間が流れる設えがあるといい →週末の午後でイベントがない日に人工芝とイスだけ置いてみる。 →地域の人で見守りをする。週末の午後だけなど、とりあえずやってみる →将来は本物の芝が良い。水やりは井戸水を活用する ●常設のフリーマーケットスペースがあると良い（駅前で野菜の販売など） ●夜にもっと明かりが多いと“安全にたむろ”できて良い	●気軽に多世代交流ができるスペース（屋外）がない	●子どもの遊び場をぜひ駅周りにも！子どもの笑い声が聞こえない ●高齢者や高齢1人暮らしの視点が少ないのではないかな？ ●夜ももっと灯りがあると良い →区主導のLED電灯整備に頼るだけではない、まちのみんなで”灯火プロジェクト“やらない？

③ 広場の名前	● 広場に名前をつけよう！命名権で活動資金をつくる →活動資金で、まち全体で音楽を楽しむフェスを開催 →アート音楽、イベント開催（誰でも何でも参加可） ● カワイイ名前（愛称）	—	● 「からびょん広場」。その中に「えるくんコーナー」、「もーるちゃんコーナー」
④ 駅前通りの活用	● 青空フードコート。商店街沿いには飲食店が多く並んでいるので道路にテーブルを出して道路を活用する	—	—
⑤文化的資源やアート・カルチャー活動を知ってもらう	● センター前広場、再開発広場をアート、カルチャーの発表の場にして有効活用する ● 核となるような「発信」できるお店をみんなで設置したり応援したりする ● 価格も含めて入りやすい地域のためのお店づくり	● アートや音楽など文化的な資源（人や活動）がたくさんあるので、それがもっと街の雰囲気にも現れてくると良い（デザインなどに） ● 文化的要素があまり感じられないので、よそから人を呼べない ● アート、カルチャーの活動が知られていない（目立たない） ● アート、カルチャーの発表の場が少ない ● コミュニティづくりにはイベントを実施する人（まわす人）が集約していく核が必要	● 烏山のアートは分散している。それを発掘して顕在化させていく →全体をプロデュースする人が必要。近隣出身のアーティストは居ないだろうか？ ● 文化的要素の集大成を大きくイベントにしたらいなと思いました
⑥まちのシンボル	● モニュメント・ランドマークを新たにできる駅前広場に設置して目印になるようにする →烏山の街の特徴である多様性を象徴するものにしたい	—	● 高層マンションを虹色にカラーリングしては？多様性バンザイ！ ● 多様性のあるまちの実現を考えたいです。多様性を表すモニュメントってどんな感じなんだろう？ ⇒高層ビルによる格差社会

⑦高架の作り方	● 高架により南北につながる広い空間ができるので、コミュニケーションできる場所が欲しい（例えば、散歩しながら南北の町を楽しめるように） ● 高架下の街側には細長い店をつくりコミュニケーションの場にする →街に背中を向けたような開発にはして欲しくない！	—	—
⑧歩きやすい街づくり	● 平らで誰もが歩きやすい道づくり	● 町中を用事で歩くが、高齢者にはちょっとした段差やタイルの目地でも歩きづらい。道路の素材（デザイン）もバラバラで外出するのがおっくうに思ってしまう	—
⑨緑豊かな街づくり	● みどりとまちの機能の共存を目指す	● 現状は駅まわりに緑が少ない。理想は緑でいっぱいになり豊かになって欲しいけど、お店もたくさんあるのでスペースが取れないのではないか。	● やりっぱなし（植えただけ）はいけないので、管理の仕組みを作っていないといけないと思います
⑩外から来る人のために	● 民宿のような場所が欲しい ● 子育て世代でも気軽に買い物に來られるように外の人が利用しやすい駐車場	—	—
⑪烏山マインド	● 若い人が気軽に参加できる飲み屋コミュニティのようなゆるくつながる場があると良い ● 広場にいる人にアイサツするところから始めてみる ● 烏山はいろんな人を受け入れる「烏山マインド」があるので、それを広めていく（アート・活動、これから進む様々な整備で）	● 町内会の高齢化が深刻でどうにかしないといけない	● 文化を感じられるまち。イイね！ 烏山マインドづくりイイね！ ● “からすやま mind”をつくっていくコト →心を育てていく取組みイイね！一緒に多様性のまちをつくりたい

ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

居心地のよいまち：みどりや土がある場所が居心地のよさに繋がる。そして、みどりを増やすことや居心地のよいまちにすることが鳥山の魅力向上に不可欠である。

みどりの管理：みどりを増やすとともに、継続的に維持管理を行う。その担い手は区民であり、費用はクラウドファンディングや地元企業の協力で賄う。

高架下の活用：高架下の設えはまちの魅力向上に大きく影響する。京王電鉄を巻き込んで、高架下の活用を一緒に考える。

多様な居住空間の供給：従来型家族向け住宅だけでなく、単身や2人向けなど多様な居住形態に対応できる多様な居住空間の供給が必要である。

地域コミュニティ：再開発エリアのタワーマンション建設により、周辺の景観、風害、コミュニティ形成などに懸念がある。

ゴミのないまち：ゴミやポイ捨てタバコのないまちを目指し、ゴミ箱を設置する提案と持ち帰り文化を普及させる提案が出された。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① 区民センタ ー前広場	- 現在の広場のような使い方ができる広場を。 - 居心地の良いベンチ、風通し、緑陰、ミストなどを考える。 - 公共の気持ちが育つようなモニュメントをおく。 - まちのシンボルとなるような、コミュニティ広場、どろんこ子ども広場にする。 - 居心地のよい場所になるようなデザインを考える。 - 大勢がいられる、かつ、一人でもいられる広場に。 - 木陰をつくる。 - 井戸を設置し、水あそびなどの遊びと連動させて防災を学ぶ。	今は居心地が良くない。	- 早朝にヨガができるような、広々として緑のある場所があるとうれしい。 - 区民センター前広場を「からびょんひろば」にして、みんなで大きな「からびょん」を描く。
② 高架下	- 鳥山に合った高架下について京王電鉄を巻き込んで一緒に考える。 - 高架下にナショナルブランドではなく個人店舗などの小さい店舗を入れる。 - 北と南を行き来できる通り抜けをつくる。 - コンクリート柱が並ぶので無機質にならないようにゴーヤなどのみどりを設える。・ - 木陰とミストを設える。	- 高架下をどのようにするのが見えないので心配。 - 自転車置き場だけになるのは避けたい。	—
③ 居心地のよ いまち	- 駅前広場や再開発エリアは、歩いている時の心地よさをつくり出せるよう、1階にみどり、にぎわい、街路樹を充実させる。 - 高層化せず親しみの持てる住宅や商店があるまちにする。 - 補助 216 号線は車中心の道、駅前通りは人中心の道と棲み分け、歩いて心地よいまちにする。	- 最近暑すぎて外出できない。 - 駅前広場や再開発エリアは、歩いている時の心地よさがもっとほしい。 - ミストはコストもかかるので懸念がある。木陰をつくる方が良いと思う。	街全体で建物の統一感がないと思う。

	● 暑さ対策として、小さな商店街の路地など木を植えられない場所にはミストを設える。 ● 暑さ対策として、バス停にミストを設える。		
④ みどりを増やすまち	● 小さな農園など土がある場所をつくり、食べられる植物を植えると災害時に利用でき、防災にもなる。ネコジャラシ、ヤブカラシなども食べられるし、ニガウリは緑陰にもなる。 ● 緑が多いだけでなく土もあるまちに。 ● 住宅の緑を増やすことを考える。手入れしやすい緑や植物の提案をする。 ● 空と近いテラス、屋上、ベランダなどに緑を設えて、地面だけでなくまち全体でみどりを増やす。 ● 気候・環境に合ったまちづくりを。	● 世田谷は住む人の街であり、緑も住宅も多く空が広いが、シェルターとしての緑は少ない。 ● 広場などまとまった場所だけでなく、もっとあちこちに緑があってほしい。 ● はっけん通りの街路樹はサルスベリなので日陰がない。西日カーテンが必要。	● 下北沢では街の緑を維持するために一般社団法人シモキタ園芸部が活動しており、参考になると思う。 ● 木が増えるといいね！
⑤ 多様な居住空間の供給	● 従来型家族向け住宅ばかりではなく、単身や2人向けなど多様な居住形態の住宅をつくり、多様な人が住めるまちにする。 ● タワーマンションにも多様な居住空間を。	● 公営住宅団地の建替え期間中、住民が減り地域の多様性への影響が心配。 ● 公営住宅団地の建替え期間の住民の仮住まい確保が心配。	● 北烏山 3 丁目団地を建替える際は、これから住む人のための住宅を増やす。 ● 多様性があり、住む人が誰でも安心できる街に。
⑥ まちの居場所づくり	● 空き家なども活用して、ちょっとした居場所の数を増やす。	● 精神障害者などマイノリティの方のまちの中の居場所がない。	—
⑦ ゴミのないまち	● ゴミのないまち、ポイ捨てタバコのないまちになるように、リサイクルを兼ねてあえてゴミ箱を置く。置くならリサイクル広場に。 ● ゴミのないまち、タバコのないまちになるように、持ち帰り文化を育てる。	● ゴミ、タバコの投げ捨てがまだまだある。	—
⑧ 地域コミュニティ	● 再開発エリア周辺地域の人にもまじえた話合いをして、烏山らしいまちづくりを進める。	● タワーマンションができることでコミュニティの分断や立退交渉が懸念される。	● タワーマンションが格差社会の象徴とならないようなデザインの工夫をす

	● 再開発エリアの小さなお店が残るようなまちづくりを。 ● まちを分断しないまちづくりを。	● タワーマンションができることでみんなが好きな烏山がどのように変わってしまうのか心配。	● すると良いと思う ● タワーマンション建設に対して賛成反対があるが、最上層にレストランとか展望台を作ったらどうだろうか。一般の人も住民も利用できるのではないか
⑨ まちのみどりの管理	● みどりの手入れは、ボランティアで行う。町会、まちの人、フォーラムメンバー、高齢者、障害者など多様な人が関われるようにする。 ● 管理方法は、町会など小さな単位で決める。 ● 管理費用は、クラウドファンディングや地元企業へ協力をお願いする。	—	● 「言った人がやる」大事だと思う ● 樹木管理の継続について考えることの大切さにも触れていていいね！ ● 室内農園、業者を招致する
⑩ まちの景観、環境	—	● タワーマンションによる風害が心配。マンションの足元だけでなく、駅ホームにも横風が吹く懸念がある。 ● 中低層のまちにタワーマンションができると景観を圧迫すると思う。 ● 人口減少する将来、タワーマンションの空室増加が懸念される。	—
⑪ まちの小さな避難場所	● 街なかに、ちょっと避難できる場を。 ● 井戸を設置し、水あそびなどの遊びと連動させて防災を学ぶ。	—	—

ワークショップでの意見等（ピンクは提案、アイデア、 黄色は課題、 水色は他の参加者からの意見等）



概要

情報共有：情報共有はいろいろな形があり、町会などではイベントなどで周知の工夫は行われている。町会とマンションとの間のギャップが課題になっている。看板やアプリなどいろいろな情報共有のあり方があるが、日頃の備えから災害発生時などそれぞれのフェーズで必要とされる情報の整理と発信の整理が必要。まち歩きなどの点検をつうじた周知や成果をマップなどでまとめることによるアイデアが出された。

高齢者への対応：在宅避難が推奨されているが、高齢者は一人では不安であったりすることもある。一方で避難所への移動などで課題も多いことから、地域ぐるみでの対応が必要である。

区民センター：地域のハブとして情報の拠点などへの期待がある。

キャプションと（場所）	提案・アイデア	課題	会場からの意見、応援
① 区民センター前広場	- 区民センター前広場に避難してきても収容人員には限りがある。現在区では在宅避難を推奨しているので、在宅避難の人も情報を得られるような情報拠点として位置づけてはどうか。 - 防災イベントは開催し、AED の講習会や D 型ポンプの放水訓練とかけ合わせたどじょうすくい(今年はスーパーボールすくい)など若い親子連れが参加してくれ、好評だ。	- 商店街の防災倉庫があり、D 型ポンプなどが入れているが、食料は備蓄していないので、それぞれで備蓄する必要がある。 - 在宅避難者に情報が行き届かない。物資の配給場所にとどまってしまう。 - AED の講習を受ける機会がほしい。	10 年前ぐらいだったと思うが、災害発生時に区民センター前広場の使い方を商店街の方々と議論し、広場を情報拠点にしようと記憶している。皆で合意してはどうか。
② 区民センター	—	区民センターに設置している雨水タンクが壊れているのでメンテナンスが必要だ。	—
③ コーシャハイム周辺	防災イベントはやっているが、実際避難場所まで移動してみるなど実践的なシミュレーションをやった方が良い。	10 年前に建て替えられ、在宅避難はできるが、在宅避難に関する情報などまだ認識されていない。	—
④ 駅前広場南側地区周辺	ホースをつなげば消火ホースも届くだろうが、消防車などが目の前まで止められると良い。	道路が狭く、建物が旧耐震で避難が難しい。	—
④ 備蓄倉庫や避難場所	- まず避難場所を知っていない - 在宅避難をする際、食料等の確保が必要。各自の備蓄を多めにしておきたい。 - 災害時にはバールやツルハシが阪神淡路大震災でも役に立った。 - カセットコンロもライフラインが寸断するので、役立つ。 - 現在は D 型ポンプよりスタンドパイプが主流となっている。	- 中央高速下などに備蓄倉庫はあるが、高齢者や発災後はそこまで行って戻ってこられるか不安だ。 - 高齢者は、一時避難所へ行けるか心配だ。また在宅避難と言われても、きちんとできるか心配だ。	バールやツルハシ、カセットコンロが役だったことプレーパークの人からうかがいました。
⑥ マンションや集合住宅	住民が参画し、自治会以外のマンションの自治会など自主グループによる活動を活発化させたい。	上町会では避難訓練などを活発にやっているが、マンションや集合住宅は別組織	—

	● 他のマンションなどではどんなことをやっているのか参考にしたい。	● 住んでいるマンションでは、防災訓練はするが、起震車体験や消火器の使い方ぐらいで、突然地震が起きた時の訓練をしていないので、不安。	
⑦ペットを飼っている人	● 避難場所のなかにペットといっしょに避難できる区画や教室を決められると良い。	● ペットを飼っている人は増えている。どのように避難すれば良いかわからない。	—
⑧人材確保	● 災害が起きてからでは、パニックになって役割分担もできないので、避難場所のボランティアを事前に集めておきたい。 ● 中学校では、ボランティア部などで災害時の役割分担が整っている。	—	—
⑨情報共有	● 防災情報板の設置など、情報を見える化したい。 ● 町会では名簿を共有できているが、商店街でもできるようになると良い。	● 町会では名簿は共有しているが、災害時に有効活用できるか？	● 防災看板良いと思う。 ● 防災マップ QR コードに賛成。 ● 新聞に挟む広報が難しくなった今、住民全体により多く共有する方法って何だろう。 ● スマホが使えない状況を想定した防災まちづくりをやりたい。（看板以外にも情報共有するしくみ） ● コミュニティで情報共有について話し合っておくことが良いね。 ● 防災の中身が知られていない不安。これからの防災に対するアップデートを周知する。

⑩メンテナンスを兼ねた点検	● 防災マップづくりを参加型で行い、点検も兼ねてまち歩きなどができると良い。 ● 防災倉庫や AED、消火栓などの場所もアプリで一括確認できると良い。	● 商店街が作った道路にある散水栓 6 箇所のメンテナンスと周知がしたい。 ● AED はあるが、どこにあるかわからない。	● AED マップの活用と合わせて性別問わず救命率アップを目指したい。 ● 災害時の給水所の可視化をしてほしい。
⑪顔と名前的一致する関係づくり	● 喫茶店や接骨院、図書館など常連で行く人同士が顔と名前が一致していて、安否を確認することができている。そうした関係づくりができると良い。	● 独居高齢者が多く、簡単に避難できない。 ● 避難所の収容人数は足りない。	● 一人暮らしのグループ名簿を作る。若い方、高齢者等。安心に繋がるのでは。 ● 防災には町内会の役割が大きいが、高齢化が課題。ホントに何とかしないと。
⑫来街者	—	● 人口が密集していて、いざという時にパニックにならないか心配だ。 ● 商店街の来街者の安全確保	—
⑬その他	—	—	● 防災士がリーダーとなって、地域一帯となるコミュニティを日常から。 ● 開発前、開発中、開発後の対策が必要。